

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年5月11日(月) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月9日(土)～11日(月)

- 11日(月) 15時現在、州内感染者数は前日比687人増(+2%)の4万6131人、うちサンパウロ市が2万7771人、オザスコ市が1287人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1099人、グアルーリョス市が1091人と続く。州内死者数は同34人増(+1%)の3743人で、うちサンパウロ市が2281人。全体の致死率は8.1%、60歳以上の死者の割合は73.2%。感染が確認されているのは州内645市のうち414市(前日412市、1か月前は161市)、死者は179市(前日177市、1か月前は61市)。入院感染患者数は約9700人(前日9800人)。州内公立病院のICU占有率は68.2%(前日67.9%)、サンパウロ大都市圏内は同89.6%(前日83.3%)。
- 10日(日)の州の社会的隔離実施率は53%(前日50%)、サンパウロ市の実施率は54%(前日50%)。規制の緩和には最低でも55%が求められる。なお、同日の実施率トップは引き続きサン・セバスチャン市の68%、2位はウバトゥーバ市の67%。
- 11日(月)、サンパウロ州政府は州保健局が11日(月)～31日(日)にインフルエンザワクチン投与キャンペーンの最終フェーズを実施すると発表。今回は6歳未満の子ども、障害者、妊産婦が対象。これまで実施した第2フェーズで既に州内950万人以上に同ワクチンを投与、優先的に投与すべきとしたグループにおいて90%の目標を達成した。
- 11日(月)、サンパウロ州政府はサンパウロ大学工学部の技術者グループが開発した安価かつ短時間で組立て可能な緊急用人工呼吸器「Inspire」の生産に関し、同大学とブラジル海軍が協力すると発表。
- 11日(月)、ドリア・サンパウロ州知事は、LPG流通会社Ultragazがコロナウイルス関連対策費として約240万リアルを投じると発表。同社は主にサンパウロ市内パンタナール地区の貧困層約3万2千人を対象にガスボンベ約8千本を供給する。サンパウロ市内の仮設病院にも月4万キロのガスを提供する。
- 11日(月)、エレン州経済開発局長はクアレンテーナ(外出自粛措置)期間中、州内の経済活動は74%維持されており、80%の経済活動が通常通り行われていると説明。同期間中の経済活動について正しく理解していない人もいるとして、広く理解を求めた。同局長はまた、経済活動の段階的再開に関してタイムスケジュールを策定中とし、各セクターが経済活動を再開する際のプロトコールも準備中と補足した。
- 9日(土)、サンパウロ州政府は11日(月)に州内13の先住民コミュニティへ生活必需品を292セット配布予定と発表。同セットの詰め合わせはヴァレ・ド・リベイラ・キロンボラス農業組合が行った。
- 11日(月)、サンパウロ市は4月29日(水)に市内9か所の就労支援センター(Cate)で開始した失業保険や連邦政府による緊急援助金支払いの受給手続き等に関し、既に5417人を対応したと発表。
- 11日(月)、サンパウロ市は市警・軍警の協力を得てセー地区で不要不急の商業活動を行っている店舗の取締りを強化したと発表。既に約120店舗を摘発し、それぞれに9231リアルの罰金を課した。
- 11日(月)、サンパウロ市はこれまで建設工事が遅れていた市内北部の市立ブラジランジア病院が稼働したと発表。感染患者向けのICU病床20床、一般病床16床を用意。最終的に305床を整える予定。
- 11日(月)、サンパウロ市は社会的隔離の実施率向上に向けて同日開始した車番に基づく交通規制(Rodizio)により、市内で渋滞の大幅な緩和が見られるなど、大きな効果が現れているとの見解を示した

2 マット・グロッソ州

5月6日(水)～11日(月)

- 11日(月) 17時現在、州内感染者数は前日比26人増の545人、うち州都クイアバ市が192人、ロンドノーポリス市が57人、ヴァルゼア・グランデ市が41人と続く。入院患者数は51人(うち30人が

ICU)。州内死者数は新たに19人目(60歳女性, バーラ・ド・ガルサス市, 高血圧を患っていた)が確認された。州内の統一医療保健システム(SUS)に参加する州内病院における新型コロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは214床(占有率8.9%), 一般病床は643床(同1.7%)。

- 11日(月), 同州政府は軍警察が同日午前^に新型コロナウイルスに関するフェイクニュースをWhatsappで流したとされるカルリダ市の26歳男性を逮捕したと発表。
- 11日(月), 同州政府は8日(金)告示の州政令を通じ, 11日より州公務員の勤務時間を原則8時~18時(昼休みは2時間)に戻したと発表。ただし, 職員の密集を避けるため事務所と在宅の勤務をローテーションすることが定められた。感染に対するリスクの高い人は在宅勤務となる。
- 11日(月), 同州政府は, ロンドノーポリス市に人工呼吸器ではなく心電図モニターを偽って納入した業者2人が民事警察によって逮捕されたと発表。同市は入札を通じ, 2人から人工呼吸器22台の調達手続きを進めていたが, 不正であることに気づいて4月22日に警察に通報していた。購入費の300万リアル以上は民事警察が既に取り戻したという。
- 6日(水), 同州政府は民事警察が商業店舗内でマスクを着用していない客を入店させた店舗を取り締まったと発表。同措置初日の5日(火)に50店舗以上が指導を受け, それぞれ罰金80リアルが課された。また同日, 警官約500人が路上に繰り出し, マスクを着用していなかった約4千人に対する指導も行った。

3 マット・グロツ・ド・スル州

5月9日(土)~11日(月)

- 11日(月)午前10時現在, 州内感染者数は前日比23人増の385人, うち州都カンポ・グランデ市が155人, トレス・ラゴアス市が68人, ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が34人と続く。入院患者数は25人(うち8人がICU)。州内死者数は前日同様11人。同州保健局は足元でギア・ロペス・ダ・ラグナ市のほか, ジャルジン市やボニート市など州南西部へ感染が拡大しているとして, これらの自治体に医療用マスクや各種防護具, アルコール・ジェルなどを配布。
- 10日(日), 同州政府は「母の日」の前日9日(土)の州の社会的隔離実施率が38.7%と特に低調だったと発表。これまでの土曜日, たとえば3月21日は51%, 3月28日は56.7%, 4月11日は47.7%, 4月18日は46.2%, 4月25日は46.4%, 5月2日は56.1%と推移していた。なお, 10日(日)の実施率も41.9%となり, 日曜日としては同じく3月以降最も低かった。
- 9日(土), カンポ・グランデ市は市内小売・卸売店舗の入客数の上限をこれまでの30%から60%に緩和すると発表。バーやレストランも同様とし, 客席の距離も2メートルから1.5メートルに緩和。(了)